

# タイルカーペット施工要領書

ダイヤ・カーペット株式会社

(2011年10月11日改訂)

## 1. まえがき

カーペットフロアはハードフロアと異なり、素材が繊維そのものです。繊維には、床材としての優れた長所がありますが、欠点もあります。従って、長期間に亘りカーペットの美観を保持し延命を図るためには、素材であるカーペットの種類及び施工方法等を良く理解の上、欠点をカバーして管理することが最大のポイントです。

## 2. タイルカーペットの施工方法

- (1) タイルカーペットの施工は、ピールアップボンド(粘着剥離型接着剤)を全面塗布する方法が標準仕様です。
- (2) 弊社をはじめ、裏面にピールアップボンドを塗布した自己粘着タイプ(裏糊付き)も多く使用されています。(弊社SL表示商品が自己粘着タイプです)
- (3) ピールアップボンドは、使用中でのタイルカーペットのズレを防止すると同時に、配線工事等で必要な、カーペットの剥しができる様になっています。
- (4) 自己粘着タイプは、施工時の時間短縮・糊からの臭気発生防止・糊缶の廃棄不要等、作業効率アップ・環境改善・省エネルギーなど多くの利点があります。
- (5) タイルカーペットは市松貼り施工を標準とします。

## 3. 施工手順

### (1) 施工に適した下地

- ① コンクリート仕上げ、モルタル仕上げ、プラスチックタイル、OAフロア(アルミ・GRC・塗装鋼板等)
- ② 自己粘着タイプは、平滑で堅牢な床にご使用下さい。(OAフロアに適します)
- ③ OAフロア上における自己粘着タイプは、材質・形状によって剪断力が出にくいものがありますので、事前テストを行って確認して下さい。
- ④ 湿気の多い床・環境でのタイルカーペットの使用は避けて下さい。(汚れ・カビ・臭気・突き上げ等が発生する恐れがあります)

### (2) 下地の確認と調整

- ① 水分を含む下地の場合は十分に乾燥していることを確認して下さい。水分率8%以下を目安として下さい。
- ② アルカリ性水分が原因で臭気が発生する恐れがあります、アルカリ性の強い下地にはご注意ください。
- ③ ホコリ、ゴミ、油分、ワックス、塗料等を十分に取り除いて下さい。
- ④ 不陸がある場合は、平滑に補修を行って下さい。
- ⑤ 段差がある場合は、レベル調整を行って下さい。
- ⑥ OAフロアの場合は、床段差及び隙間を1mm以下に調整して下さい。

### (3) 割付けと基準線(墨出し)

- ① 1枚のサイズ50cm角のものを、できる限りカットせずに互換性を活かした割付けをして下さい。(20cm幅以下のカットは避けて下さい)
- ② 廊下や出入り口などの歩行量の多い場所は、交換しやすいように割り付けて下さい。
- ③ 壁際等に極端に小さなカットが入らないように、基準線(略中央部)をずらすなど状況に応じて割付して下さい。

### (4) 接着剤の塗布作業

- ① 接着剤は指定のピールアップボンドを使用して下さい。  
(CTボンド4S:ホルムアルデヒドF☆☆☆☆対応商品)
- ② 接着剤は冷暗所で保管して下さい。  
冬場は接着剤の凍結に注意して下さい！凍結すると使用できなくなります。
- ③ 基準線から施工面にローラーコテや平コテで均一に接着剤を塗布して下さい。
- ④ OAフロアの場合、目地部や凹部に接着剤が入らないように注意して下さい。
- ⑤ 接着剤の塗布量及び乾燥時間は下地の種類により若干異なりますが、次の数値を目安にして下さい。

吸水性下地	塗布量	80～100g/m <sup>2</sup>	乾燥15～20分
非吸水性下地	塗布量	60～80g/m <sup>2</sup>	乾燥20～25分
- ⑥ 接着剤は乾燥すると透明になりますので、目視で確認して下さい。
- ⑦ 接着剤が白い状態(未乾燥)でタイルカーペットを貼ると、剥がれなくなり、無理に剥すとバックング材を破壊することがあります。
- ⑧ 塗布面積は、当日タイルカーペットの施工が完了する面積として下さい。  
塗布後施工できずに放置すると、ホコリ等で接着剤の接着力が落ちてしまいます。
- ⑨ 接着剤の臭いが気になる場合は、換気を行って下さい。

### (5) 敷き込み

- ① 施工は市松貼りを標準として下さい。(裏面の→を確認し、施工方向を合わせて下さい、方向が異なると色が違って見えます)
- ② 接着剤が乾燥していることを確認して下さい。
- ③ 基準線に沿って、直角に貼り合わせ直線を出して施工して下さい。
- ④ 以後、階段工法で順次施工して下さい。
- ⑤ 敷き込みは隙間無くつきつめて施工して下さい。
- ⑥ 無理なつめ過ぎは、目地部の突き上げ(反り状)が起きますので注意して下さい。  
(ニーキッカーは使用しないで下さい)
- ⑦ OAフロアの場合は、タイルカーペットをまたいで貼って下さい。
- ⑧ 自己粘着のタイルカーペット同士を剥す場合、縦方向に剥して下さい。  
横方向に剥すと、横方向に反り癖が起きますのでご注意下さい。
- ⑨ 自己粘着のタイルカーペットは、裏面が滑りませんので敷き込みに注意して下さい。

- ⑩ 壁際、見切り部で、タイルカーペットをカットする場合は、垂直に且つ正確な寸法にカットして施工して下さい。斜めのカットになりやすく、又、押し込み過ぎやすいので注意して下さい。
- ⑪ 出入り口・EV前等の見切り部は、タイルカーペットの全厚に合った見切り部材をご使用下さい。
- ⑫ 施工完了後は圧着し、タイルカーペットの浮きをなくして下さい。
- ⑬ 施工中臭いが気になる場合は、換気を行って下さい。(臭いは素材特有のものです)

#### 4. 施工完了後のご注意

- (1) 施工完了後は関係者以外の立ち入りを禁止し、ビニールシート等で養生して下さい。(養生材はパイルへの汚染の無い物をご使用下さい)
- (2) 施工後の残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- (3) 梱包材などを焼却する場合は、都道府県条例に基づいて処分して下さい。
- (4) タイルカーペットを焼却すると、有害ガスが発生します。
- (5) 施工後、台車・家具等の重量物を移動する場合は、合板等で保護して下さい。
- (6) 引渡し清掃の際、清掃業者に漂白剤や錆落とし剤をこぼさないよう指導して下さい。パイルの変色を招きます。

#### 5. 施工の標準仕様書について

下記施工標準仕様書をご確認し、参考にして下さい。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(建築工事編)

社団法人日本建築学会編集の建築標準仕様書・同解説(JASS26 内装工事)

文部科学省建築工事標準仕様書(文教施設整備技術研究会)

日本建設インテリア事業共同組合連合会の内装工事施工技術指針・内装工事施工管理指針

#### 6. 関連する法規・法令等について

次の法規・法令等を確認して下さい。

建築基準法(国土交通省)、消防法(総務省消防庁)、日本工業規格(経済産業省)

高齢者・身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律(ハートビル法)、

労働安全衛生法

以上